

補助金等適正化チェックシート

※継続的に補助金等を交付している団体が複数ある場合は、団体ごとにシートを記入してください。

補助金等の名称	長久手温泉ござらっせ優待事業	担当部課	福祉部長寿課
---------	----------------	------	--------

基本情報	支出根拠		補助要綱	無					
			根拠法令等	有	長久手市福祉の家温泉交流施設及び長久手市田園バレー交流施設の管理に関する協定				
	総合計画	基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち-生活			会計区分	一般会計		
		政策	4-3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進			予算区分	3-1-2 老人福祉費		
		施策	4-3-1 市民の健康づくり			中事業名	あったかあど事業		
	補助制度開始年度		平成22 年度	制度終了(予定)年度	年度	細節名称	負担金		
	交付先(団体名)又は対象者		満65歳以上の市民(赤あったかあど保持者)			交付年数【※】	通算 11~15年		
	会員数【※】					年 月 日現在	会費【※】		
	他団体への交付【※】					制度の周知方法【※】			
	ガイドラインの適用		適用(予定)	令和6年度以降					
			例外規定	無し					
	最新年度の補助内容		補助対象経費	長久手温泉ござらっせの入泉料					
			補助対象事業費の総額	3,675,650円	補助金額	3,675,650円	事業全体の補助率	100%	
			特記事項	補助額110円					

補助金等の目的・内容・効果	目的	(市民生活の維持・向上に資するものか) 福祉の家温泉交流施設という資源を活かし、市民の外出促進及び健康増進を図る。							
	内容	(団体向け補助の場合は補助対象となる活動内容について、個人向け補助の場合は制度概要について記入) 赤又は青のあったかあど保持者は、あったかあど交付要綱により、長久手温泉ござらっせの入泉料が510円に優待される(通常720円)。赤あったかあど保持者は、指定管理にかかる協定により、さらに110円優待される。							
	事業費補助の実績 (団体の主な活動の実績) ※今年度は予定	R2年度実績(2020)		R3年度実績(2021)		R4年度実績(2022)		R5年度予定(2023)	
		27,062人		31,848人		33,415人		35,670人	
		補助対象事業費		2,976,820円		3,503,280円		3,675,650円	
		補助金額		2,976,820円		3,503,280円		3,675,650円	
	財源	国及び県							
		市(一般財源)		2,976,820円		3,503,280円		3,675,650円	
		その他							
	補助金等の効果 ※今年度は予定	広く高齢者の外出機会創出と健康増進に寄与した。また、市施設の利用頻度向上に寄与した。		広く高齢者の外出機会創出と健康増進に寄与した。また、市施設の利用頻度向上に寄与した。		広く高齢者の外出機会創出と健康増進に寄与した。また、市施設の利用頻度向上に寄与した。		広く高齢者の外出機会創出と健康増進に寄与する。また、市施設の利用頻度向上に寄与する。	
今後の方向性・担当部署の自由意見	(株)長久手温泉の公民連携事業の進捗状況に合わせて、本事業について事業展開を再検討する必要がある。								

【※】欄は、団体補助のみ記入してください。

		確認の視点	チェック	左記のチェック内容とした理由	
公益性	補助事業（事業の内容）が、市の施策（総合計画）と整合性が図られているか		○		
	効果が幅広く市民生活の維持・向上に不可欠なものか		○		
	市民ニーズは認められるか		○		
有効性・妥当性	補助金額に見合った効果があがっているか		×	直接的に市民の健康増進に繋がったかの評価がしにくい。	
	社会情勢の変化により補助効果が薄れていないか		○		
	少額または申請件数の少ない補助金について継続していく必要があるか		○		
	直近3年間の成果（効果）状況が維持又は向上しているか		○		
	会計処理・実績報告が正確に行われているか【※】				
	補助対象経費	公金で補助することが妥当か		○	
		補助率や補助金額（補助対象経費や補助額の設定）は妥当か		○	
		経費の用途は明確か		○	
		基準を逸脱して補助していないか		○	
		運営費的な内容の補助により、補助対象が曖昧になっていないか【※】			
補助金額を超える繰越金の発生はないか【※】					
市の施策的課題の解決につながるものか		○			
社会情勢、他の自治体の取組状況を踏まえて実施が適切か		○			
補完性・公平性・透明性・他	市民や団体の自主的な行動支援に寄与するものか		○		
	委託や直接執行よりも補助金等による事業執行が適切か【※】				
	補助金を交付する目的が達成されたにもかかわらず、同一対象者に長期間にわたり補助金を支出していないか		○		
	補助対象者を限定するなど、交付先に偏りがないか（特権的な恩恵を与えていないか）		○		
	同様の活動を行っていれば、誰でも補助を受ける機会が確保されているか【※】				
	補助金の概要、要綱等がホームページなどに掲載されているか		○		
	事業の実施状況（実情）の確認、監査等が適切に実施されているか【※】				
補助事業に類似する事業がある場合に、統合の可能性を検討しているか		×			
総合評価	担当課の評価	評価理由、見直す場合はその内容			
	A	(株)長久手温泉の公民連携事業の進捗状況により方針が変更する可能性はあるが、市民の健康増進や外出促進に一定寄与しており、基本的には継続していく。			

【※】欄は、団体補助のみ記入してください。